



2019 残暑お見舞い 申し上げます

校長 佐藤 正文



【各教室に電子黒板が入りました】

立秋を過ぎ、朝夕には虫の声も聞かれ、秋の気配を感じますが、残暑厳しき折、保護者、地域の皆様、どうぞお体ご自愛ください。

9月2日(月)小竹小学校に、蝉の声に負けないくらい元気な子供たちの声に戻ってきました。普段なかなかできない経験をし、いろいろな人とかがわりながら過ごせたのではないのでしょうか。校庭で行われたラジオ体操、旭丘中学校での桜台地区祭・相撲大会、地域のお祭り、海や山での思い出等々、これからの学校生活に生かされるとよいですね。2学期には、大きな行事として、運動会と学芸会があります。子供たちの活躍がとても楽しみです。

夏季水泳教室では、前期8日間、後期5日間の実施回数は低学年9回、中学年11回、高学年12回。延べ人数1527名の参加でした。参加した子供たちは、めあてをもって泳力を伸ばそうと頑張っていました。全出席の児童17名には、皆勤賞が渡されます。指導補助員として協力していただいた本校卒業生お2人と教育実習生さんには大変お世話になりました。

6年生は、9月5日(木)開進第三小学校で行われる連合水泳記録会に出場するため練習に励んでいます。

吹奏楽部は前・後期10日間、運動会、小竹の森音楽祭に向けて、各自がめあてをもち練習をしてきました。始業式では、校歌を演奏し、練習した成果を披露しました。

さて、夏季休業中、練馬区教育委員会より区内各小学校にICT機器が導入されました。タッチパネル式の大型の電子黒板、実物投影機、そして電子黒板用のノート型パソコンです。

2学期以降、これらのICT機器を活用しながら、子供たちにとって、授業がわかりやすく、楽しくなるように、教職員の研修や実践を積み重ねていきます。

夏休みに入ってまもなく、地域の方からお電話をいただきました。「小竹小のお子さんに道を案内してもらい、嬉しかったので…」。江古田駅に向かおうと、自宅を出たときに方向が分からなくなり、「どなたか近くにいますか」と声をかけたそうです。お電話いただいた方は、目が不自由で、ほとんど見えないとのこと。以前は、校庭で行われているラジオ体操にも参加していたそうです。小竹の町で暮らす素敵な子供たちに感動しました。

心も体もやさしくたくましくなった子供たちが、安心・安全に学校生活を送り、自分の目標に向かって取り組めるよう、教職員一同努めて参ります。2学期もどうぞよろしくお願いたします。

